

放課後等デイサービス事業所における自己評価(公表) 令和2年度 ひらた旭川荘通園センター

回答数 6

公表日 令和3年3月29日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1			複数の部屋を使うようになり1人1人のスペースは広がっている
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3			部屋が分かれたことにより、少なさを感じることもあるため日課等を見直していく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		5	1		フロアにいる利用者は寒く感じているのではないかという意見もあり、冬場には今以上の対策をしていくようにする
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3	1	1	話し合いの機会を多く持つようにし、誰もが意見を言えるようにして業務改善を進める
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		1	日頃の話や、面談などの時などにも聞いていくようにする
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			1	ホームページで公開しており、誰でも見られるようにしている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	1	1	ヒヤリハットのみ第三者の外部評価を受けている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	3		1	新型コロナ感染拡大によりできていないため、オンラインの研修への参加や通園内での研修の機会を持つようにする
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5			1	6か月に1回モニタリング、カンファレンス、保護者との面談等を行い計画作を成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		1	1	4	標準化されたものは使いにくく、個々にあわせて行うようにしている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		1	全体で行う活動は会議等で話し合っている。個別のプログラムに対しても全体での話し合いの場を持つようにしていく
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	2		1	全体の活動は月担当を職員で交代で行い、いろいろな工夫ができるようにしている。個別プログラムは工夫が必要
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して対応しているか		2	1	3	平日、長期休暇に応じての対応はできていない
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		2	生活介護と一緒にしているため、子どもだけの集団活動は難しい 個別活動の計画をもっと具体的にしていく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		1	全員揃っての細かな確認を行うようにする
適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		1	支援終了後の振り返りを行っているが、職員全員での共有するためのツールを工夫して行っていく

提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			1	支援終了後に記録をとり、モニタリング・支援計画の作成時等で活用し、必要に応じて改善するようにしている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			1	6か月に1回モニタリングを実施している	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		2		4	ガイドラインのことを職員全体で把握し、支援を行えるようにしていく	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	5			1	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者や保育士が参加できるようにしている	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				6	訪問教育または長期休暇中の受け入れのみの受け入れのため、特に行っていない	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	2	1	直接連絡を取ることは難しいため、保護者を通じて必要なことは確認等行っている	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			3	2	1	自施設で児童発達から放課後等デイサービスへの移行をしたため、特に行っていない。今後必要に応じて行っていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			1	2	自施設で放課後等デイサービスから生活介護への移行をしたため、特に行っていない。長期休暇中の利用者に関しては、今後必要に応じて行っていく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	2				4	荘内のセンターの研修会に参加している。今年は新型コロナウイルス感染拡大によりオンラインによる研修のみ
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				4	2	今は外部との交流ができないが、荘内に児童クラブを招いて行われる行事での交流などを検討していく
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				4	2	今年は参加できていないが、必要に応じて参加をして行くようにする
	㉘	日頃から子供の状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				1	送迎の際保護者に様子を口頭で伝えたり、家での様子を聞いたりしている。また連絡ノートでも伝えるようにしている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか					6	
保護者	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について適切な説明をおこなっているか	4				2	契約時、支援計画の説明時に行っている
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				1	送迎の時や面談の時に話を聞き、内容によっては適切な職員から改めて話をするようにしている
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			1	1	今年は新型コロナウイルス感染拡大のため活動ができなかった。大人の保護者中心で行われているが、今後放デイの保護者も参加できるよう日程調整や預かり等配慮していく

白 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			1	苦情はなかったが、あった場合には適切に対応していく
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		1	毎月お便りを出している。ホームページにものせて、長期休暇利用の人にも様子がわかるようにしている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			1	今後視線入力なども検討していく
	③⑦	事業所の行事に地域の住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	2	荘内では行っているが園では行っていない
非 常 時 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		1	職員へのマニュアルの確認をするとともに保護者への周知のために、家族会・面談等で話をして行く。またいつでも見られるようにしておく
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				施設内で避難訓練を毎月行っている。荘内、棟内の合同訓練も参加している
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				園内での研修も行い、意識の向上につなげていく
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束をおこなうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			1	バギー乗車時のベルト装着など計画に記載し、保護者への説明を行っている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		1	保護者からの聞き取りを丁寧に行い、検査データ対応方法などを把握するようにしている。必要あれば指示書、親の同意書も検討していく
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				